

#6

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 2000095271 A

(43) Date of publication of application: 04.04.00

(51) Int. Cl.

B65D 77/26

B65D 5/20

(21) Application number: 10269456

(22) Date of filing: 24.09.98

(71) Applicant: FUJI PHOTO FILM CO
LTDRENGO CO LTD

(72) Inventor: ITO KANJI

(54) PACKAGING BAG FOR PHOTOSENSITIVE MATERIAL

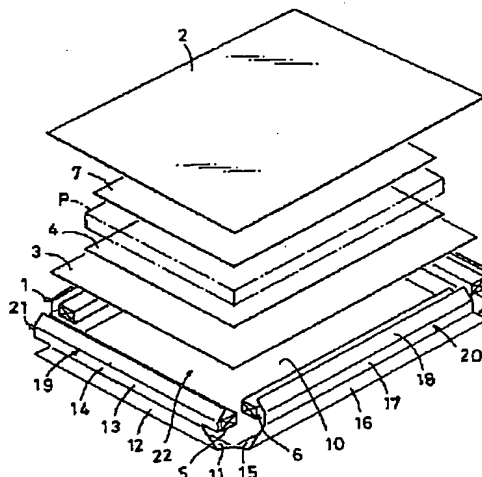
covered by a lid plate 2 mounted on the frame 21.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a packaging bag for photosensitive materials which is excellent in lightproofness and has a cushioning space around an entire periphery.

SOLUTION: The package for photosensitive materials comprises an outer end plate 11, an end top plate 12, an inner end plate 13 and an end back plate 14 connected from both end rims of a bottom plate 10 which are rolled around a core material 5 to form an end cylindrical frame 19 and an outer side plate 15, a side top plate 16, an inner side plate 17 and a side back plate 18 connected from both side rims of the bottom plate 10 which are rolled around a core material 6 to form a side cylindrical frame 20, sequentially. In this case, an end of the end cylindrical frame 19 is made to protrude into the side cylindrical frame 20, whereby a storage space 22 of a photosensitive material P enclosed by a frame 21 comprising respective pairs of the end cylindrical frames 19, 19 and the side cylindrical frames 20, 20 is formed, and an upper face of the storage space 22 is



(19) 日本国特許庁 (J P)

公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2000-95271

(P 2 0 0 0 - 9 5 2 7 1 A)
(43) 公開日 平成12年4月4日 (2000.4.4)

(51) Int. Cl.⁷
B65D 77/26
5/20

識別記号

F I
B65D 77/26
5/20

テーマコード (参考)
B 3E060
A 3E067

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平10-269456

(22) 出願日 平成10年9月24日 (1998.9.24)

(71) 出願人 000005201

富士写真フイルム株式会社
神奈川県南足柄市中沼210番地

(71) 出願人 000115980

レンゴー株式会社
大阪府大阪市福島区大開4丁目1番186号

(72) 発明者 伊藤 寛治

豊橋市中原町字大池1番地 レンゴー株式
会社豊橋工場内

(74) 代理人 100074206

弁理士 鎌田 文二 (外2名)

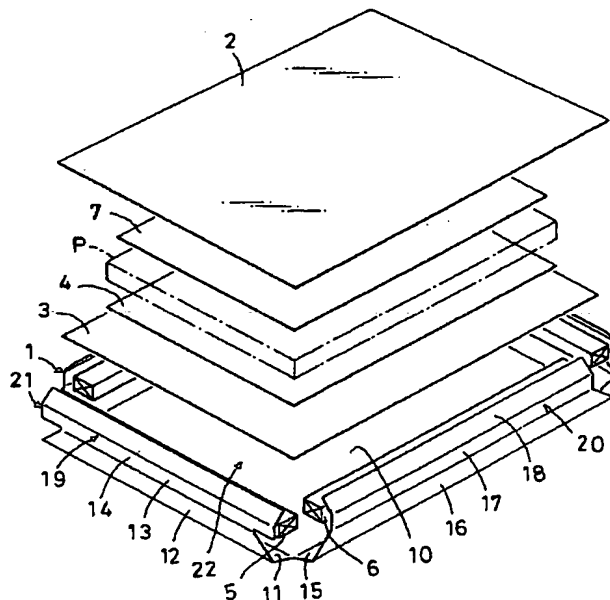
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 感光材料の包装箱

(57) 【要約】

【課題】 遮光性に優れ、全周にわたって緩衝空間を有する感光材料の包装箱を提供する。

【解決手段】 底板10の両端縁から繋がる外端板11、端頂板12、内端板13及び端返板14を芯材5の周りに巻き込んで端筒枠19を、底板10の両側縁から繋がる外側板15、側頂板16、内側板17及び側返板18を芯材6の周りに巻き込んで側筒枠20を順次形成し、端筒枠19の端部を側筒枠20に突入させることにより、各一对の端筒枠19、19及び側筒枠20、20から成る額縁21で取り囲まれた感光材料Pの収納空間22を形成し、この収納空間22の上面を額縁21に載せた蓋板2で覆う。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 底板 10 の両端縁に外端板 11、端頂板 12、内端板 13 及び端返板 14 を、両側縁に外側板 15、側頂板 16、内側板 17 及び側返板 18 をそれぞれ順次連設し、端頂板 12 及び側頂板 16 の両側縁が先端へ向けて内寄りに斜向し、内端板 13 の両端部が端頂板 12 の先端から両側方に張り出し、内側板 17 の側縁が側頂板 16 の側縁先端から先方へ延びるように形成し、内端板 13 の両側間に亘る芯材 5 の周りに外端板 11、端頂板 12、内端板 13 及び端返板 14 を巻き込んで端筒枠 19 を、内側板 15 の両側間に亘る芯材 6 の周りに外側板 15、側頂板 16、内側板 17 及び側返板 18 を巻き込んで側筒枠 20 を順次形成し、端筒枠 19 の端部を側筒枠 20 に突入させて端頂板 12 及び側頂板 16 の隣接側縁同士を突き合わせることで、各一对の端筒枠 19、19 及び側筒枠 20、20 から成る額縁 21 で取り囲まれた感光材料 P の収納空間 22 を形成し、この収納空間 22 の上面を額縁 21 に載せた蓋板 2 で覆うようにした感光材料の包装箱。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 この発明は、写真製版用の感光材料を包装する包装箱に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 この種の包装箱として、従来より使用されているものの一例を図 7 に示す。この包装箱は、底板 50 の両端縁に外端板 51、端頂板 52、内端板 53、端返板 54 及び筋交板 55 を、両側縁に側板 56 及び蓋板 57 をそれぞれ順次連設し、外端板 51 乃至筋交板 55 を巻き込み、筋交板 55 の先端を端頂板 52 と内端板 53 との連設部に当接させて端筒枠 58 を形成し、遮光包装された感光材料 P を対向する端筒枠 58、58 間に挿入して底板 50 上に置き、側板 56 を起立させ、蓋板 57 を内側へ折り曲げて端筒枠 58 に載せ、対向する蓋板 57、57 の先端縁同士を突き合わせて封緘するものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記のような包装箱では、端筒枠 58 の端面と側板 56 との間から光が入りやすく、感光材料 P の遮光包装が不完全であった場合、感光材料 P が感光する恐れがある。

【0004】 また、側板 56 の方向には緩衝空間がないため、この方向からの衝撃に弱いという問題もある。

【0005】 そこで、この発明は、遮光性に優れ、全周にわたって緩衝空間を有する感光材料の包装箱を提供することを課題とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決するため、この発明に係る包装箱は、底板の両端縁に外端板、端頂板、内端板及び端返板を、両側縁に外側板、側頂

板、内側板及び側返板をそれぞれ順次連設し、端頂板及び側頂板の両側縁が先端へ向けて内寄りに斜向し、内端板の両端部が端頂板の先端から両側方に張り出し、内側板の側縁が側頂板の側縁先端から先方へ延びるように形成し、内端板の両側間に亘る芯材の周りに外端板、端頂板、内端板及び端返板を巻き込んで端筒枠を、内側板の両側間に亘る芯材の周りに外側板、側頂板、内側板及び側返板を巻き込んで側筒枠を順次形成し、端筒枠の端部を側筒枠に突入させて端頂板及び側頂板の隣接側縁同士を突き合わせることで、各一对の端筒枠及び側筒枠から成る額縁で取り囲まれた感光材料の収納空間を形成し、この収納空間の上面を額縁に載せた蓋板で覆うように構成したのである。

【0007】 この包装箱では、端筒枠の端部が側筒枠に突入しているため、両筒枠の接合部から感光材料の収納空間へ光が侵入することがなく、また、感光材料の収納空間は額縁で取り囲まれているため、全ての周方向からの衝撃が緩和される。

【0008】

【発明の実施の形態】 以下、この発明の実施の形態を添付図面に基づいて説明する。図 1 に示す包装箱は、箱本体 1 及び蓋板 2 から成り、感光材料 P の包装に際しては、底敷パッド 3、4 及び芯材 5、6 を使用し、蓋板 2 の裏面には、その剛性を向上させるため、必要に応じて蓋裏パッド 7 を貼着する。

【0009】 図 2 に示す箱本体 1 のブランクにおいて、底板 10 の両端縁には外端板 11、端頂板 12、内端板 13 及び端返板 14 が、両側縁には外側板 15、側頂板 16、内側板 17 及び側返板 18 がそれぞれ順次連設されている。端頂板 12 及び側頂板 16 の両側縁は先端へ向かって内寄りに 45° の角度で斜向し、内端板 13 の両端部は端頂板 12 の先端から両側方に張り出し、内側板 17 の側縁は側頂板 16 の側縁先端から先方へ延びるように形成されている。

【0010】 上記ブランクの組立過程を図 1、図 3 及び図 4 を参照して説明する。この組み立てには、芯材 5、6 として段ボールを積層したものを使用し、芯材 5 の長さは内端板 13 及び端返板 14 の両側間寸法に対応し、芯材 6 の長さは内側板 17 及び側返板 18 の両側間寸法に対応するものとする。

【0011】 そして、底板 10 の大きさに略等しい底敷パッド 3 を底板 10 上に貼着し、芯材 5 の周りに外端板 11、端頂板 12、内端板 13 及び端返板 14 を巻き込み、端返板 14 を底敷パッド 3 に貼り付けて端筒枠 19 を形成する。次いで、芯材 6 の周りに外側板 15、側頂板 16、内側板 17 及び側返板 18 を巻き込み、側返板 18 を底敷パッド 3 に貼り付けて側筒枠 20 を形成する。このとき、端筒枠 19 の端部を側筒枠 20 に突入させて端頂板 12 及び側頂板 16 の隣接側縁同士を突き合わせると、各一对の端筒枠 19、19 及び側筒枠 20、

3

20から成る額縁21の内側が感光材料Pの収納空間22となる。

【0012】このように組み立てた箱本体1により感光材料Pを包装するには、図1、図5及び図6に示すように、底敷パッド4を額縁21内に挿入して底敷パッド3上に貼着し、収納空間22に感光材料Pを収納した後、蓋裏パッド7を額縁21の内側に嵌め込んで額縁21に蓋板2を載せ、収納空間22の上面を蓋板2で覆い、蓋板2を箱本体1に接着剤や粘着テープ等で固定する。

【0013】なお、この例では、蓋板2及び蓋裏パッド7にABフルートの複両面段ボールを使用し、これらのシートを互いの反りが相殺されるように背中合わせに貼り合わせた。この貼り合わせは、樹脂系のホットメルト接着剤を使用し、各隅部及び中央部の5か所で行ったが、他の水性接着剤を使用し、全面で貼り合わせてもよい。また、底敷パッド3、4にもABフルートの複両面段ボールを使用し、その接着も前述のように行った。

【0014】上記のように感光材料Pを包装すると、図4に示すように、端筒枠19の端部が側筒枠20に突入しているので、底板10が撓んでも、両筒枠19、20の接合部が開くことがなく、この接合部から感光材料Pの収納空間22へ光が侵入することがない。また、蓋裏パッド7が蓋板2の裏面に貼着されていることから、額縁21の頂面と蓋板2との間から光が侵入することもない。

【0015】また、感光材料Pの収納空間22は、緩衝性を有する積層段ボールの芯材5、6が全周に亘って挿入された額縁21で取り囲まれているので、全ての周方向からの衝撃が緩和されると共に、底板10の撓みも抑制される。

【0016】さらに、底敷パッド4を収納空間22の底に敷設したため、薄板の感光材料Pを積層包装した場合にも、その下部が端筒枠19及び側筒枠20の下方へ潜り込むことがない。

【0017】

【発明の効果】以上のように、この発明に係る包装箱は、感光材料の収納空間を各一对の端筒枠及び側筒枠から成る額縁で取り囲み、端筒枠の端部が側筒枠に突入するようにしたので、両筒枠の接合部から感光材料の収納空間へ光が侵入することがなく、また、全ての周方向からの衝撃が緩和され、感光材料が確実に保護される。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明に係る包装箱による包装の分解斜視図

【図2】同上の包装箱の箱本体のブランクを示す図

【図3】同上の箱本体の組立過程を示す角部拡大斜視図

【図4】同上の箱本体の組立状態を示す角部拡大斜視図

【図5】同上の包装箱による包装状態の斜視図

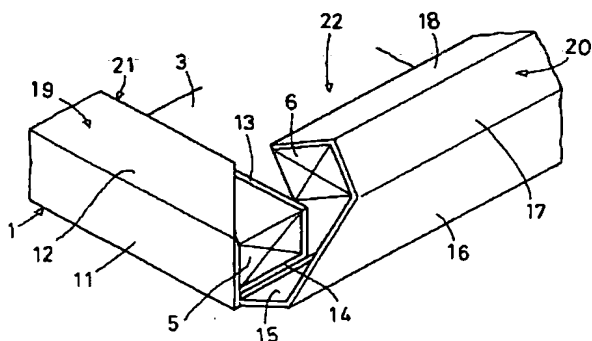
【図6】同上の包装状態の端部断面図

【図7】従来の包装箱による包装の斜視図

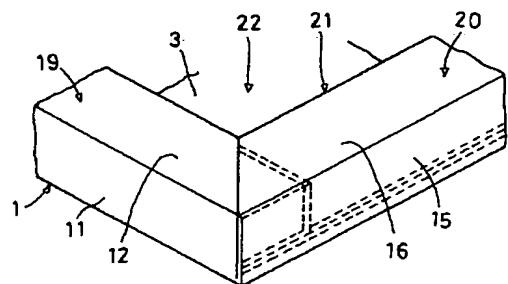
【符号の説明】

- 1 箱本体
- 2 蓋板
- 3、4 底敷パッド
- 5、6 芯材
- 7 蓋裏パッド
- 10 底板
- 11 外端板
- 12 端頂板
- 13 内端板
- 14 端返板
- 15 外側板
- 16 側頂板
- 17 内側板
- 18 側返板
- 19 端筒枠
- 20 側筒枠
- 21 額縁
- 22 収納空間
- P 感光材料

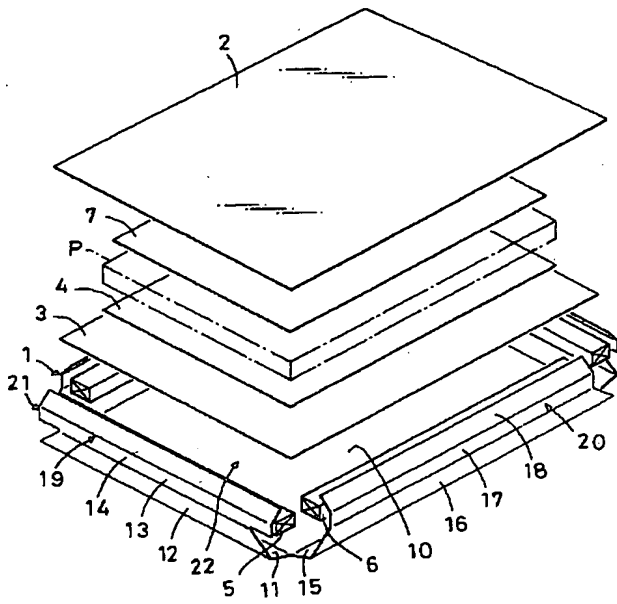
【図3】



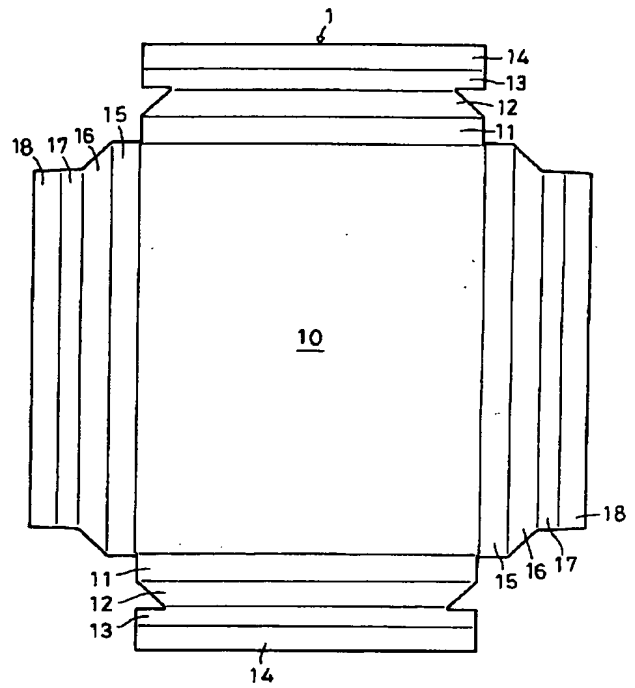
【図4】



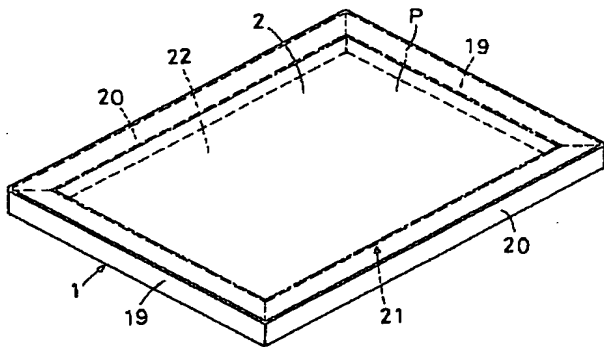
【図 1】



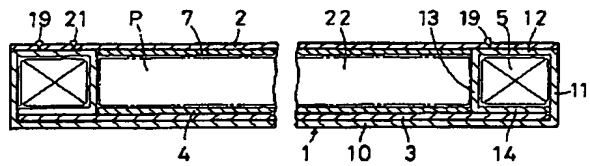
【図 2】



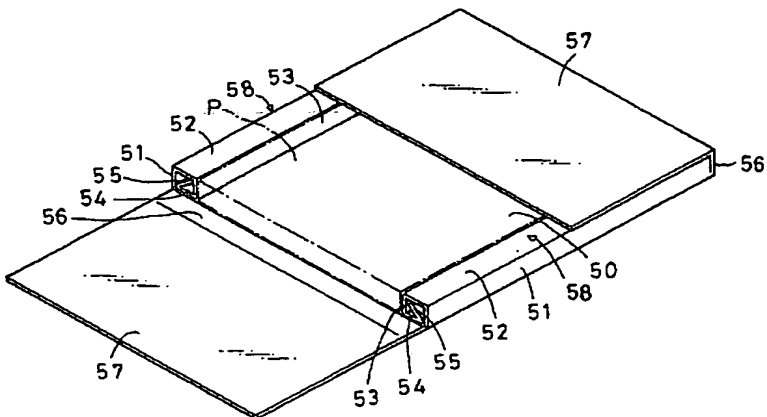
【図 5】



【図 6】



【図 7】



フロントページの続き

F ターム(参考) 3E060 AA03 AB16 BA22 BC02 BC04
CC12 CC19 CC43 CD04 CD13
DA11 EA08 EA20
3E067 AB39 BA20A BB02A BC06A
BC07A CA12 EC32 ED03
ED04 EE38 GD03